

「带状疱疹」の経過

●痛みを感じてから治るまでの経緯

①痛みや違和感が現われる（4〜7日）

皮膚の一部分に、違和感を覚えたり、ピリピリした痛みを感じたりします。「前駆痛」と呼ばれるものです。「前駆痛」と呼ばれるものです。

②赤い発疹が現われる

前駆痛が続いたあと、その部分に小さな赤いブツブツ（発疹）が带状に現われ、より強い痛みに襲われます。

③発疹が水ぶくれに変わり、痛みが出てくる（発疹出現後1〜2日）

赤い発疹がどんどん水ぶくれになり、一つひとつの水ぶくれが大きくなって増えていきます。この時期から、強い痛みが出てきます。

④水ぶくれが黄色くなる（発疹出現後5〜6日）

最初は透明だった水ぶくれが、次第に膿が溜まって黄色くなっていきます。この水ぶくれが破れてジクジクとたれたり、潰瘍かいようになったりします。この膿は細菌感染によるものではなく、免疫が誘導されて免疫細胞が集まることによるものです。

⑤かさぶたができてくる（発疹出現後10〜20日）

ジクジクしていた皮膚表面が、少しずつ乾いてかさぶたができてきます。

⑥かさぶたが剥がれ落ちて治癒する

かさぶたが剥がれ落ちると、その下から健康な皮膚が現われ、皮膚症状は消えます。通常は痛みも解消されますが、痛みだけがいつまでも続く場合があります。带状疱疹後神経痛（42ページ参照）と呼ばれるものです。